

フリーペーパー
PECCO ぴんぐ
Vol.42 2018.2



特集
七めちゃんぐやく!
図書館探検記 その17

書庫さんぽ 2
貴重書庫

図書館の中には大きな金庫のような部屋があります。厳重に管理された部屋の名前は「貴重書庫」。なんだか宝物が入っていそうな名前ですが、一体どのような部屋なのでしょう？そめちゃんと一緒に探検してみましょう！

貴重書庫ってどんなところ？

ここにあるのはお金や宝石ではなく、やはり本。ただし、普段私たちが目にするようなものではなく、主に**古文書**や**古絵図**が収められています。ずっと昔の岩手の様子を知ることができる、金銀財宝にも勝る図書館の宝物です。

古文書／古絵図 ▶ 昔の人が手で書いた古い書き物や地図

貴重書庫内部



厳重な管理

入り口を守る分厚い鉄の扉は厚さ約 20 cm！窓はなく、温湿度は年間を通して一定に保たれます。消火設備は本を濡らさないようガス式で行い、人の動きを感知するセンサーもあります。

貴重書庫入り口



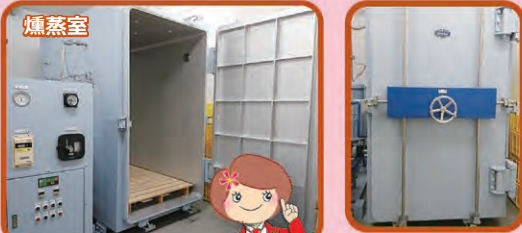
扉の厚さ 20 cm

こんな頑丈な扉なら安心だね♪

長期保存の工夫

床も本棚もすべて木製。中性紙（長く保存できる紙）封筒に入れたり、薄葉紙（とても薄い和紙）で包んだりし、急激な環境の変化を防ぎます。また、定期的に燻蒸（除菌・防虫処理）を行っています。

燻蒸室



未来に残すための大事な作業なんだね！

どんなものが収められているの？

古文書や絵図 ▶ 約 1万 2000 点

石川啄木 ▶ 『手紙』や『一握の砂』など

宮沢賢治 ▶ 『注文の多い料理店』の初版本 など

貴重書庫には入れるの？

残念ながら、図書館職員以外は入ることができません。しかし、書庫内の資料は、3階の郷土資料コーナーで手続きをすれば、「調査研究室」という部屋で見ることが出来ます。一部、ホームページでも公開しているので、是非ご利用ください！

ポストのココが気になる！

厚い本 No.1

稗貫郡打直御検地水帳

厚さはなんと 35 cm！
約 2790 ページもあるよ。

長い本 No.1

北上川船之航路図

長さはなんと 44.6 m！

古い本 No.1

りうりの書

天正元年(1573年)の資料で、**445年前の料理書!**
当時の料理方法などを知ることができるよ。



貴重書庫に入っているいろんなナンバー1をご紹介します!

県立図書館スタッフおすすめの本

地球の宝石

岩合さんが写し出す絶滅寸前の動物たち。美しくユーモラスな写真はもちろん、メッセージにも思わず頷いてしまう。

岩合光昭 写真
ブラッドリー・トレバー・グリーヴ 文
竹書房 出版

請求記号
748/イワ

映画「赤い靴」
(イギリス/1950年日本公開)

あかいくつ

子どものころ読み聞かせてもらって「こわい!!!」と凍りついた絵本のおはなし。大人になった今もやっぱり「怖い…。」でも子どもの頃にふれてよかったと思う大好きなおはなしです。



アンデルセン 作
偕成社 出版

請求記号
J949/テ116

県立図書館イベント案内

映画会

子ども向け 11:00 ~

毎月第 2・4 日曜日

2月	3月	4月
11日	11日	8日
25日	なし	22日

一般向け 14:00 ~

毎月第 2・4 日曜日
(翌月曜日再上映)

2月	3月	4月
11・12日	11・12日	8・9日
25・26日	なし	22・23日

おはなし会 14:30 ~

おはなし☆すてーしょん 毎月第 1・3 日曜日	2月 4日/18日	3月 4日/18日	4月 1日/15日
----------------------------	--------------	--------------	--------------

手づくりかみしばい 毎月第 2 土曜日	2月 10日	3月 10日	4月 14日
------------------------	-----------	-----------	-----------

ファミリーおはなし会 毎月第 4 日曜日	2月 25日	3月 11日	4月 22日
-------------------------	-----------	-----------	-----------

図書館さんぽ コンシェルジュガイドツアー

毎月第 1 日曜日 10時~、13時~	毎月第 4 月曜日 11時 30分~
2/4 3/4 4/1	2/26 なし 4/23

休館日	2月 28日(水)	3月 蔵書点検 3/25(日)~31(土)	4月 27日(金)
-----	--------------	--------------------------	--------------

企画展 **岩手の医学**

期間 2/23(金)~4/15(日)
会場 4階展示コーナー

まじないから西洋医学の導入まで、日本の医学の歴史をたどり、江戸時代の岩手ゆかりの医師を紹介します。さらに近代岩手の医学教育の歩みを振り返ります。

2/25日 15:05頃 ~ ギャラリートーク

図書館♪さんぽ
コンシェルジュガイドツアー

毎月開催

図書館の裏側を見たい
誕生日の新聞を読んでみたい
検索機の使い方をくわしく知りたい

参加方法
3階コンシェルジュデスク前にお集まりください。事前申し込みは不要です。

第 1 日曜日
1回目 10:00 ~
2回目 13:00 ~

第 4 月曜日
11:30 ~



影裏

沼田真佑 著 / 文藝春秋 出版

主人公の「わたし」は、ただ一人の友人である同僚の日浅と釣りを楽しみ、穏やかな日々を送っています。しかし、次第に日浅の別の一面が明らかになり…。東日本大震災を背景に、抑制された語り口で、岩手の自然や繊細な心情が綴られます。盛岡市在住の著者は、本作で第157回芥川賞を受賞しました。



武士道的一日一言

新渡戸稲造 著 / 山本史郎 解釈
朝日新聞出版 出版

新渡戸稲造が厳選し、大正時代にベストセラーとなった、名言集の現代語版です。一仁がすぎれば弱くなる・人生は心で歩く・実が入ると稲はうつむくー 味わい深い言葉を毎日一節づつ読めるよう、366の名言が掲載されています。新渡戸自身の言葉や文人、武人、キリストの言葉も紹介しています。



平泉の世紀 藤原清衡

高橋富雄 著 / 清水書院 出版

蝦夷征伐以来の東北の歴史は、藤原清衡の登場をもって新しい時代へと転換し、清衡は「かなめ」の位置に立つ人物となりました。著者は、安倍氏から連なる清衡の出自や恩信、源義経不遇のわけ、鎌倉幕府との比較等、多角的に「平泉の世紀」に迫っています。本書は、1984年刊行の新書版を復刊したものです。著者は岩手県出身です。



美輪明宏と「ヨイトマケの唄」 天才たちはいかにして出会ったのか

佐藤剛 著 / 文藝春秋 出版

伝説のシャンソン喫茶「銀巴里」で丸山臣吾としてスタートした彼は、いかにして美輪明宏という唯一無二のスターとなったのか。そこには三島由紀夫・寺山修司ら天才との出会いがありました。音楽プロデューサーである著者が記した、戦後音楽界の記録とも言える一冊です。著者は岩手県出身です。



書店員 X

「常識」に殺されない生き方

長江貴士 著 / 中央公論新社 出版

2016年、書名と著者名を隠すという驚きの販売方法でヒットした「文庫 X」。盛岡市の書店員である「文庫 X」の仕掛け人が、アイデアの原点を語っています。優等生を演じ苦しんだ、という自身の半生から生まれた考え方は、生きづらさを抱えた多くの人々へのエールとなっています。「文庫 X」の著者、清水潔氏との対談も収録されています。



宮沢賢治の食卓

魚乃目三太 著

少年画報社 出版

賢治の暮らしぶりを、食べ物を中心に描いたコミックです。賢治自身も楽しんだ農学校での日々。貧しい生徒たちや病身の妹を思う賢治の温かな心が、画面から伝わってきます。ハヤシライスやアイスクリーム、食パンやおそばを通して語られる賢治の暮らしは、思いのほかにごやかで活気に満ち、読後お腹がすくこと請け合いです。